

平成 14 年度文部科学省「21 世紀 COE プログラム」研究拠点形成費補助金
(京都大学 機関番号 14301 整理番号 D - 2)

心の働きの総合的研究教育拠点

Center of Excellence for Psychological Studies

平成 14 年度活動報告書

2003 年 3 月

京都大学心理学連合

Kyoto University Psychology Union

研究拠点の名称

心の働きの総合的研究教育拠点

Center of Excellence for Psychological Studies

(京都大学 機関番号 1 4 3 0 1 整理番号 D - 2)

研究拠点形成費

平成 14 年度 182,000 千円

学内関連部局

文学研究科 (行動文化学専攻 心理学専修)

教育学研究科 (教育科学専攻 教育認知心理学講座、教育方法学講座 / 臨床教育学専攻 心理臨床学講座、臨床教育学講座)

人間・環境学研究科 (人間・環境学専攻 環境情報認知論講座、人間形成論講座、自然環境論講座)

高等教育教授システム開発センター (大学教育評価システム講座*、大学教育課程講座*)

情報学研究科 (知能情報学専攻 生態認知情報学講座*)

生物科学研究科 (霊長類学専攻 思考言語分野*)

注) * は協力部局である

研究組織

研究課題 A チーム 「イメージと表象の性質と機能」

研究課題 B チーム 「身体化される心」

研究課題 C チーム 「文化・社会的環境との相互作用」

研究課題 D チーム 「進化と生涯発達」

構成メンバー（*は研究協力者、それ以外は事業推進担当者）

氏名	専攻	専門	チーム
藤田 和生	文学研究科（行動文化学専攻）教授	比較認知科学	D,A,拠点リーダー
苧阪 直行	文学研究科（行動文化学専攻）教授	知覚心理学	A(チームリーダー)
櫻井 芳雄	文学研究科（行動文化学専攻）教授	認知神経科学	A
楠見 孝	教育学研究科（教育科学専攻）助教授	認知心理学	A
齊藤 智	教育学研究科（教育科学専攻）助教授	認知心理学	A(チームサブリーダー)
岡田 康伸*	教育学研究科（臨床教育学専攻）教授	心理臨床学	A
皆藤 章*	教育学研究科（臨床教育学専攻）助教授	臨床教育学	A
河合 俊雄	教育学研究科（臨床教育学専攻）助教授	心理臨床学	A,B
鶴田 英也*	教育学研究科（臨床教育学専攻）助手	心理臨床学	A
藤原 勝紀*	教育学研究科（臨床教育実践研究センター）教授	臨床心理実践学	A
大山 泰宏*	高等教育教授システム開発センター助教授	臨床教育学	A(チームサブリーダー)
江島 義道*	人間・環境学研究科（人間・環境学専攻）教授	視覚心理学	A
船橋 新太郎	人間・環境学研究科（人間・環境学専攻）教授	認知神経科学	A
山本 洋紀*	人間・環境学研究科（人間・環境学専攻）助手	視覚心理学	A
齋木 潤	情報学研究科（知能情報学専攻）助教授	認知科学	A
伊藤 良子	教育学研究科（臨床教育学専攻）教授	臨床心理実践学	B(チームリーダー)
蘆田 宏	文学研究科（行動文化学専攻）助教授	認知心理学	B(チームサブリーダー)
梶井 夏実	文学研究科（行動文化学専攻）助手	認知心理学	B,A
吉川 左紀子	教育学研究科（教育科学専攻）教授	認知心理学	B,C
山中 康裕	教育学研究科（臨床教育学専攻）教授	心理臨床学	B
黒川 嘉子*	教育学研究科（臨床教育実践研究センター）助手	臨床心理実践学	B
松村 道一	人間・環境学研究科（人間・環境学専攻）教授	認知神経科学	B(チームサブリーダー)
内藤 栄一	総合人間学部（人間・環境学専攻）助手	神経科学	B
乾 敏郎*	情報学研究科（知能情報学専攻）教授	認知科学	B
北山 忍	人間・環境学研究科（人間・環境学専攻）助教授	文化心理学	C(チームリーダー)
東山 紘久	教育学研究科（臨床教育学専攻）教授	臨床心理学	C
桑原 知子	教育学研究科（臨床教育学専攻）助教授	心理臨床学	C(チームサブリーダー),A
杉万 俊夫*	人間・環境学研究科（人間・環境学専攻）教授	社会心理学	C(チームサブリーダー)
渡部 幹	総合人間学部（人間・環境学専攻）助手	社会心理学	C
山田 洋子	教育学研究科（教育科学専攻）教授	生涯発達心理学	D(チームリーダー),A
板倉 昭二	文学研究科（行動文化学専攻）助教授	発達認知科学	D(チームサブリーダー),B
子安 増生	教育学研究科（教育科学専攻）教授	発達心理学	D
遠藤 利彦*	教育学研究科（教育科学専攻）助教授	生涯発達心理学	D
橋彌 和秀	教育学研究科（教育科学専攻）助手	比較発達科学	D
溝上 慎一*	高等教育教授システム開発センター講師	青年心理学	D
松沢 哲郎*	霊長類研究所教授	比較認知科学	D,C
友永 雅己*	霊長類研究所助教授	比較認知科学	D,A
田中 正之*	霊長類研究所助手	比較認知科学	D(チームサブリーダー),A

目次

はじめに	1
プロジェクトの内容	3
シンポジウム、ワークショップ、講演会の開催記録	11
大学院生交流の記録	23
修士論文及び博士論文	27
業績	35
添付論文	45
研究課題 A 「イメージと表象の性質と機能」	
Osaka, M., <u>Osaka, N.</u> , Kondo, H., Morishita, M., Fukuyama, H., Aso, T., & Shibasaki, H. (2003). Neural basis of individual differences in working memory: An fMRI study. <i>NeuroImage</i> , 18, 789-797.	
<u>大山泰宏</u> (印刷中). 心理アセスメントとしての描画法. 高橋恵子他(編)「児童心理学の進歩」2003 年版, 金子書房.	
Saeki, E. & <u>Saito, S.</u> (印刷中). Effect of articulatory suppression on task switching performance: Implications for models of working memory.	
<u>Sakurai, Y.</u> (2002). Coding of auditory temporal and pitch information by hippocampal individual cells and cell assemblies in the rat. <i>Neuroscience</i> , 115, 1153-1163.	
<u>楠見 孝</u> (2002). インタフェースデザインにおけるメタファ: デスクトップから仮想空間, そして言語への回帰. デザイン学研究特集号: デザインと記号論, 10(1), 64-73.	
<u>Funahashi, S.</u> , & Takeda, K. (2002). Information processes in the primate prefrontal cortex in relation to working memory processes. <i>Reviews in the Neurosciences</i> , 13, 313-346.	
van Tonder, G, J. & <u>Ejima, Y.</u> (2003). Flexible Computation of Shape Symmetries within the maximal Disk Paradigm. <i>IEEE Transactions on Systems, Man & Cybernetics</i> (in press).	
前田青広・福永雅喜・ <u>山本洋紀</u> ・田中忠蔵・恵飛須俊彦・梅田雅宏・ <u>江島義道</u> (2003). Cornsweet 錯視事態におけるヒト視覚野の活動 - fMRI 研究 -. 信学技報, 2002-58, 25-29.	
<u>Saiki, J.</u> (2003). Feature binding in object-file representations of multiple moving items. <i>Journal of Vision</i> , 3, 6-21.	
<u>Tanaka, M.</u> (2003). Visual Preference by chimpanzees (Pan troglodydytes) for photos of primates measured by a free choice-order task: implication for influence of social experience	

研究課題 B 「身体化される心」

- 伊藤良子 (2003). 現代社会と心理臨床 - 遺伝子解析をめぐる今日的課題. 氏原寛(編)「臨床心理行為」. 創元社. (印刷中)
- 蘆田宏 (2003). 視線検出モデルと最近の動向 *Vision*15(1)11-15
- Kitada, R., Naito, E., & Matsumura, M. (2002). Perceptual changes in illusory wrist flexion angles resulting from motor imagery of the same wrist movements. *Neuroscience*, 109, 701-707.
- Kitagami, S., Sato, W., & Yoshikawa, S. (2002). The influence of test-set similarity in verbal overshadowing. *Applied Cognitive Psychology*, 16, 963-972.
- Naito, E., Roland, P. E., & Ehrsson, H. H. (2002b). I feel my hand moving: A new role of the primary motor cortex in somatic perception of limb movement. *Neuron*, 36, 979-988.

研究課題 C 「文化・社会的環境との相互作用」

- 河原利和・杉万俊夫 (2003). 過疎地域における住民自治システムの創造 --- 鳥取県智頭町「ゼロ分のイチ村おこし運動」に関する住民意識調査 .実験社会心理学研究、42(2) (印刷中)
- Watabe, M. Fairness as an internalized norm and as a strategy for avoiding sanctions. Unpublished Manuscript.

研究課題 D 「進化と生涯発達」

- やまだようこ (2003) フィールドワークと質的心理学研究法の基礎演習—現場（フィールド）インタビューと語りから学ぶ「京都における伝説の継承と生成」. 京都大学大学院教育学研究科紀要, 49, 22-45 (印刷中)
- 竹下秀子・板倉昭二 (印刷中). ヒトの赤ちゃんを生みだしたもの、ヒトの赤ちゃんが生みだすもの—発育・発達の時間的再編と行動進化— ベビーサイエンス
- 藤田和生 (2002). 動物の心を探る - 見えないものの認識を通して - . 哲学研究、574、39-88.
- 子安増生・郷式 徹・服部敬子 (2003). 縦割り保育の幼稚園における「心の理論」および関連する能力の縦断的研究. 京都大学大学院教育学研究科紀要, 49. (印刷中).
- 遠藤利彦 (印刷中). パーソナリティ発達研究の現況と課題. 高橋恵子他(編)「児童心理学の進歩」2003 年版. 金子書房.
- Nomura, M., Katahata, M. & Hashiya, K. (2003). Visual orienting occurs asymmetrically in horizontal vs. vertical planes. Submitted.
- Sousa, C., Okamoto, S., & Matsuzawa, T. (in press). Behavioural development in a matching-to-sample task and token use by an infant chimpanzee reared by his mother. *Animal Cognition*.